

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I	現状は行事等に参加する方々が定着しているが、それ以外にも、現在の理念の下でホームの持つ専門性を地域に還元する機会を多くしたい。	グループ住宅さわやかに地域の方々がいつでも気軽に遊びに来てくれる。	地域の方を対象にした「さわやか通信」を作成して、相談したい方が来やすいような案内をする。	12か月
2	II	本人・家族の意向を踏まえたケアプランの作成ができるように情報収集が必要。	職員に、本人も家族も気楽に要望を伝えられる雰囲気づくり。	本人・家族の要望等を担当職員から全職員に伝えて共有し、センター方式の共通の視点を確認する。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。